

## 教育委員会セッション

未来につなぐ福島県の放射線教育の取り組み  
Radiation Education of Fukushima for the Future

## (2) 探究的に学び、未来を切り拓くコミュタン福島の放射線教育

## (2) Radiation Education at "Commutan Fukushima" - Unlocking the Future through Inquiry Learning

\*佐々木 清, 福島県環境創造センター交流棟 (コミュタン福島)

## 1. 「コミュタン福島」の理念と現状

福島県環境創造センター交流棟「コミュタン福島」は、開館して4年目を迎え、放射線や環境問題に関する正確な理解を促進し、福島県の現状を伝える展示室であり、探究的な体験研修を備えた施設である。これまで多くの学校団体等の見学・視察を受け入れ、来館者も1月末で約33万人を超えている。

## 2. 5+1の展示ゾーン

展示室は、今年「触れる地球」のゾーンが増え、右下の図のように6つのゾーンが設けられている。

## 3. 探究的に学ぶ体験研修と実際

現在放射線領域の体験研修は、今年放射線防護が加わり、4つの体験研修の中から選択して実験を行っている。実際には、一方的な説明による実験は避け、あくまでも**探究の過程**にそった**児童生徒主役**の体験研修を行ってきた。

- (1)身の回りの物の放射線を**測定**してみよう。
- (2)**霧箱**で放射線の飛跡を観察しよう。
- (3) $\alpha$ 線・ $\beta$ 線・ $\gamma$ 線を**遮へい**する物を探ろう。
- (4)放射線 ( $\gamma$ 線) から**身を守る**方法を実験で確かめよう。

## 4. 未来を切り拓く深い放射線の学びと人材の育成をめざして

## (1) 福島県環境創造センター3機関合同の放射線出前授業を実施

福島県環境創造センターは、コミュタン福島(交流棟)に日本原子力研究開発機構(JAEA)と国立環境研究所(NIES)が併設されている。3機関合同で郡山第六中学校に出向き、放射線出前授業を実施している。

## (2) コミュタン福島の施設を活用した放射線個別課題研究を支援

児童・生徒一人一人が抱えている放射線の不安や悩み等を解決するため、コミュタン福島の施設を活用した個別課題研究をサポートしている。来館前に「学びのマップ」で課題解決に向けての情報の位置を確かめ、動線の話し合いを個別に行った。来館後児童・生徒は、収集した情報を基に個人レポートをまとめ、発表し、情報を共有した。

## (3) 教職員向け放射線教育研修を実施

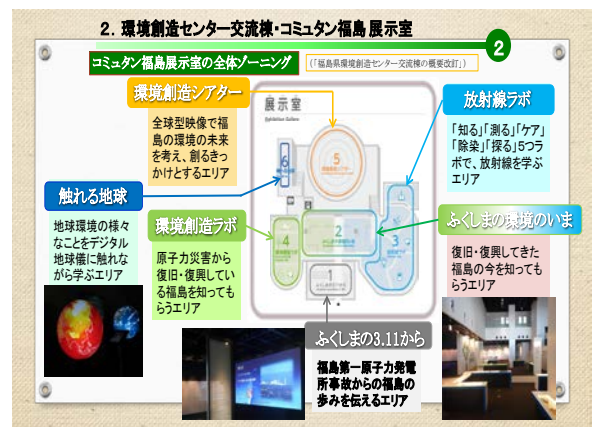
福島第一原子力発電所事故の概要と基本的な放射線について学ぶことができるコミュタン福島では、今年度より毎年約300名の栃木県連合教育会教職員の方々を迎え、放射線教育と防災教育の教職員研修会が開催された。

## (4) 小学生理科自由研究のサポートと理科自由研究ポスターセッションの発表を支援

理科自由研究相談会を開催して研究テーマの設定や観察実験、記録の方法やデータのまとめ方、および考察の仕方を助言している。さらに、完成した理科研究作品をB1版方眼紙にまとめ、口頭発表と**ポスターセッション**を実施し、児童の科学的な表現力を向上させている。

## (5) 小・中・高・大人「放射線の学び」の連携を構想し講座を開設

小学校の理科自由研究で培った「科学の芽」を継続して育成するため、右図のような小・中・高校から大人までを連続的に結びつける「**放射線の学び**」を構想し、今年度より「サイエンスアカデミア」と「サイエンスコミュニケーター育成講座」を開設して実施した。



\*Kiyoshi Sasaki,  
Commutan Fukushima